

# 広報広聴アンケートの結果をお知らせします



## 渋川市に関する情報を何から得ていますか？



市政などの情報を「広報しぶかわ」から得ている人が最も多く、次いで市公式SNS、市ホームページの順になりました。



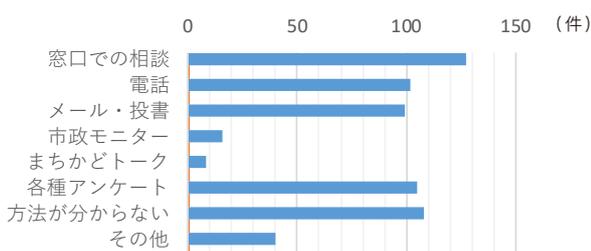
## 市の広報広聴活動について知っているものはどれですか？



「広報」「市ホームページ」「LINE」の認知度が高くなっています。皆さんの意見を聴く取り組み「市長への投書箱」「まちかどトーク」の認知度は低い結果となりました。



## 市に意見や提言・要望をどのような方法で行っていますか？



相談や各種アンケート、投書などそれぞれの方法で行っているという回答となりました。一方、「方法が分からない」が25.5%と高い回答数になっています。



### まとめ

● 市政の情報入手手段として、市公式SNSが広がっている結果になりました。 ● DX化を見据え、今後も注力するとともに、広報しぶかわや市公式SNS、メディアプロモーションなど、複数の媒体を効果的に活用し、市の情報が幅広い世代に届くように発信を続けたいと思います。 ● また、広聴事業の認知度が低く、市民の意見を聞く手段に大きな課題があります。広聴事業の周知だけでなく、意見反映事例の周知などにより、市民が気軽に意見提出できる機会を作るなど、広聴機能の充実を目指します。

皆さんの意見をより良い広報広聴事業につなげます

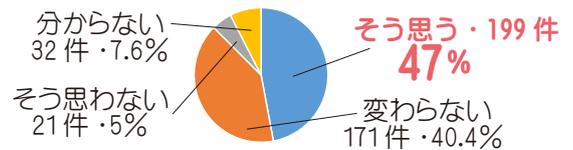
# お知らせします

市の情報を市民の皆さんに伝える「広報」と、市民の皆さんの市政への意見を聴く「広聴」について、市民の皆さんを対象にアンケートを実施したところ、423件の回答をいただきました。

このアンケート結果の概要をお知らせします。詳しくは、☎広報室(TEL2182)へ。ホームページID=15295



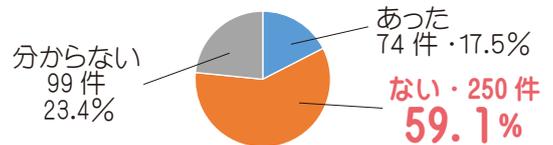
## 2～3年前と比べて市から必要な情報は届きやすくなりましたか？



「そう思う」が47%で最も多くなりました。市公式SNSで閲覧しやすいことなどが理由に挙げられています。「そう思わない」(5%)と回答した人の多くは、広報しぶかわが月1回の発行となったことを挙げていました。



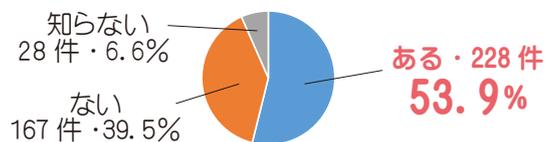
## 「広報しぶかわ」が月1回発行になり、受け取る情報に変化はありましたか？



6割の人が「ない」と回答しました。次いで、「分からない」「ある」という回答です。発行回数の減が情報発信力の低下とされていないと考えています。



## 動画で情報発信をしています。市公式チャンネルの動画を見たことがありますか？



53.9%の人が「ある」と回答しました。引き続き、映像の力で市の魅力を伝えるため、動画による発信に力を入れていきます。